



新治小学校だより

平成 31(2019)年度

4月号

学校教育目標：ひびく心 はずむ体 見つめる目

～子どもたちの心に寄り添いながら、地域社会とともに歩む学校を目指して～

ホームページ：<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/niiharu/>

平成 31年 4月 5日

新たな時代 新年度のスタートです

～新治のよさを持続して活かしながら、子どもたちをよりよく育てていく学校を目指します～

校長 宮本 雅司



新2年生が植えたチューリップの球根が、きれいな花を咲かせました。また、正門近くの桜の花びらも舞う春本番の季節となりました。お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

新治小学校は4月1日現在、新1年生と転入生を迎え、全校児童223名の新年度の学校生活が始まりました。教職員も異動がありました。メンバーは替わっても、新治小学校が目指す学校教育目標の実現に向けて、子どもたちのよりよい成長のために努力していきたくと思います。

新年度スタートの4月3日には、最上級生となった新6年生が、教職員とともに、教室や入学式等の準備をしました。久しぶりに会った新6年生の表情は、とても凛々しく見えました。

「新しく入学する1年生や下級生たちにとって、どんな先輩、どんなお兄さんお姉さんであるといいかな」と問うと、「優しいお兄さんお姉さん」「進んで挨拶ができる」という声が返ってきました。教職員とともに準備や作業を頑張っていた姿に、最高学年として、これからの新治小学校という社会をよりよくしていくことができそうな可能性を感じました☆



昨年度末から今年度にかけて、教職員とともに、今の新治小学校の子どもたちに育みたい資質や能力、学校の中期目標等を話し合っています。「豊かな環境のもと、運動能力は比較的高い子が多い」「言葉遣いや挨拶がもっとよくなると…」「単級だとお互いが分かり合える一方で社会性や人とのコミュニケーションの力が育てにくい」「もっと人や社会とのつながりを大切にしたい教育課程にしなければ…」「地域の方々には学校を応援して下さるよさがある」等々といった具合にです。

学校は、子どもたちにとって『社会への準備段階』として大切な学びの場です。「社会=学校」で見える子どもたちの姿をよりよくしていくことが大切だと感じています。子どもたちが、実社会で生きるために必要な力を少しずつ蓄えていくことができるように、保護者や地域の皆さんとともに、協働して教育活動や指導、支援にあたっていきたいと思っています。

『平成』最後の1か月、そして、新たな『令和』の時代を迎えます。

子どもたち一人一人が幸せな居場所である学校(=社会)になるように、一人一人が自分という唯一無二の素敵な花をよりよく咲かせることができるように、全教職員で指導、支援してまいります。今年度1年間、学校の教育活動へのご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

